

Ⅲ 市民全体で子どもを応援する

11 家庭・地域と連携し、子どもの発達を支援します

本市では、学校と家庭、地域の相互連携により、地域の教育力を活かすとともに、地域の教育力を高める取組を進めています。学校園が地域の核となりながら、学校・家庭・地域のそれぞれが自覚と責任を持ち、相互に連携・協力して、子どもたちの成長に関わり、豊かな成長へと導けるよう支援します。また、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的運用を進めるとともに地域人材バンク設立に向けた検討を進めます。

施策（１） 学校・家庭・地域の連携を強めます【重点施策８】

少子化・核家族化とともに、家庭や地域の教育力の低下が進むなか、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていく必要があります。

そのため、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることで、教員の子どもと向き合う時間の拡充、社会教育で学んだ成果の活用、地域教育力の活性化を図っていきます。

本市では、学校と家庭・地域の相互連携による「たからづか学校応援団」「たからづか寺子屋事業」「みんなの先生」などの各事業で、地域の人々の教育力を生かすとともに、地域の教育力を高めるための取組を進めています。ボランティア活動の推進、PTA活動との連携などをはじめ、学校園が地域の核となりながら、家庭・地域の皆さんの理解と支援により、社会総がかりで教育に取り組む体制を充実させるとともに、機能的なボランティア活動となる仕組みの検討を行います。

また、全国学力・学習状況調査の結果を基に作成する「家庭学習の手引き」の配布などにより、家庭での教育力の向上を支援します。

コミュニティ・スクールの全校導入に向けた取組を進めつつ、さらに国の示す制度への移行を進め、開かれた教育課程の実現を目指します。併せて、学校評価を活用し、地域や保護者と学校課題を共有しながら、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的運用を進めるとともに、地域人材バンク設立に向けた検討を進めます。

【主な取組】

○宝塚市PTA協議会との連携

保護者の意見やPTA活動で培った経験を学校や地域で活用できるよう連携を図ります。

- 全国学力・学習状況調査の結果活用（再掲 [P. 20]）
- 学校支援地域本部事業「たからづか学校応援団」
 - 地域の教育力を学校園の支援に向けることで、地域全体で子どもたちを育てる取組を行います。
- コミュニティ・スクールの充実
 - 地域とともにある学校づくりのためのコミュニティ・スクールの充実を図ります。

【成 果 指 標 に つ い て】

評価の観点	成果指標（例）
・学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで子どもを育てる体制が整備されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア登録者数 ・ボランティア活動回数 <p style="text-align: right;">など</p>



地域の皆さんとの体験活動



登下校の見守り活動

施策（２） 学校園の情報を発信するとともに、地域の教育力を活用します

学校園においては、さまざまな教育課題に対応するため、学校園の組織力を高める一方、保護者や地域の皆さんの参画と協働を得て、魅力ある学校園づくりを進めることが求められています。

保護者や地域からの意見などを得て、さらに学校評議員制度や学校関係者評価を活用しながら、保護者や地域の皆さんとの信頼関係の礎を築くことが必要です。

「たからづか学校応援団」や「たからづか寺子屋事業」、「みんなの先生」など地域教育力の活用を図るとともに、開かれた教育課程の実現を目指すことで、学校教育、家庭教育、地域教育の３つの力で、よりよい教育の実現を目指します。さらに、コミュニティ・スクールを核として、地域の方々に学校の支援をいただくことで、教員は子どもと向き合う時間を増やすことや教育の質の向上に向けた研究に取り組むことが可能となります。

【主な取組】

○OTAKARAっ子いきいきスクール推進事業

「開かれた学校園」「特色ある学校園」を創造していくことを目的として、「みんなの先生」事業を運用し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を進めます。

○ホームページの活用

ホームページによる情報発信の充実を図ります。

○学校（幼稚園）評議員制度

地域の信頼に応え、家庭や地域社会と連携・協力して子どもたちの健康や豊かな成長を図るとともに、保護者や地域の意見を把握し、学校運営に反映するため学校園に学校評議員を設置します。

○オープンスクール

魅力ある信頼される学校園づくりの取組の一つとして、保護者や地域の方々に授業や部活動など学校教育を公開するオープンスクールを実施しています。

○学校評価

PDCAサイクルの理念による学校評価を実施し、教育活動の活性化を図り、保護者・地域に信頼される学校園づくりに努めます。

○学校支援地域本部事業「たからづか学校応援団」（再掲 [P. 56]）

○コミュニティ・スクールの充実(再掲 [P. 56])

【成果指標について】

評価の観点	成果指標（例）
・学校園に地域の教育力を積極的に導入し、地域と共に力をあわせて子どもたちを豊かに育むことができているか	・みんなの先生活動回数（個人） ・みんなの先生活動回数（全体） など

施策（3） 発達段階に応じた体験活動を充実させます

パソコンやゲーム機、携帯電話・スマートフォンなどの普及により、子どもたちが屋外で体を動かす機会や五感を使う活動が減少しています。さらに、都市化や核家族化・少子化などにより、地域とのつながりが薄れ、人間関係が希薄になり、集団の中での活動も少なくなっています。

学校園では、子どもたちが、集団活動や様々な人々との交流を通し、豊かな人間性や社会性を育み、心身ともに健全に育つよう、体験活動の充実を図るため、子どもたちの発達段階に応じて計画を作成し、実施します。

また、本市の自然環境を大いに活用した体験活動の充実を図るため、子どもたちの発達段階に応じたプログラムを作成し、実施します。

【主な取組】

○地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」推進事業

学習の場を学校から地域社会に移し、学校・家庭・地域の連携協力のもとに、体験を通して子どもたちが自ら体得する場や機会を提供し、生きる力の育成を図ります。

○小学校体験活動事業

人や自然、地域社会とふれあい、様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断して行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、ともに生きる力を育成します（3年生…環境体験、5年生…自然学校）。

【成果指標について】

評価の観点	成果指標（例）
・自然体験学習や地域力を生かした体験の充実を図り、学校、地域の実態に応じたプログラムを工夫しているか	・「トライやる・ウィーク」の充実度 ・地域と連携した小学校体験（環境体験）活動の実施など

施策（４） 子育て支援事業を充実させます

少子化や核家族化などに伴い、人々の価値観や生活様式が多様化し、人間関係や地域のつながりも希薄化する中で、家庭で子育てに対する不安を抱えるケースが増えていきます。

本市では、保育ニーズの増加が続いていますが、依然として保育所の待機児童問題は解消されておらず、さらなる少子化の進行を抑えるためには、子育て環境の充実が求められています。市立幼稚園では、こうした課題解消のため、在園児保護者に対する「預かり保育」を実施するとともに、地域の未就園児を対象とする親子教室を開催するなど、今後も子育て家庭に対する支援を充実させていきます。

また、幼児教育センターや市立幼稚園では、地域の子育て中の家庭に対して、保護者の交流機会を提供するなど、子育て相談を実施します。

【主な取組】

○預かり保育の実施

子育て支援の一環として、通常保育の終了後と、長期休業期間において、希望する在園児を預かります。

○子育て何でも相談

園庭・園舎開放、未就園児親子教室の開催や関係機関との連携を図りながら子育ての悩みに対応したり、保護者同士の交流の場を設けたりします。

○人権文化センターにおける家庭教育支援事業の実施

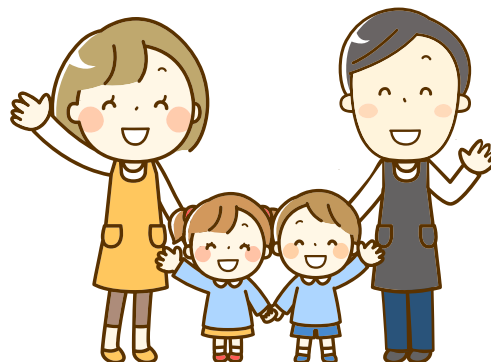
人権文化センターと連携して、家庭・地域の教育力の向上をめざし、幼児教育学習会、子育て学習会等を行います。

○幼稚園巡回カウンセリング

保護者の子育てや子どもの発達の相談に心理相談員が適切に対応します。

【成果指標について】

評価の観点	成果指標（例）
・地域の子育て中の家庭に対して、保護者の交流機会や子育て相談の充実を図っているか	・預かり保育利用率 ・巡回カウンセリング活用件数 など



施策（５） 伝統・文化等に関する教育を充実させます

様々な分野で国際化や情報化が進む一方、日本古来の郷土の伝統や文化についての理解や関心を高め、尊重し、発展させていくことが大切です。

市内の観光資源、神社仏閣、史跡等について学習を進め、実際に訪れることで、子どもたちのふるさとを愛する心を育て、郷土の歴史を理解する機会とします。さらに、宝塚歌劇など、優れた舞台芸術の鑑賞や、邦楽などの伝統文化に触れるなど、子どもたちが豊かな情操や感性を育む機会を設けます。

【主な取組】

○中学生宝塚歌劇鑑賞事業

市内中学校の生徒を対象に宝塚歌劇鑑賞を実施します。

○のびのびパスポート等事業

市内や近隣市町の美術館や博物館などの教育関連施設を無料で利用できるパスポートを作成し、市内の小・中学生に配布します。

○邦楽のつどい

市内の園児、児童生徒が和楽器（琴、太鼓）を主体とした演奏や地域芸能を発表し、また、邦楽への興味関心を高め、継承・発展させていこうとする心を育てます。

【成果指標について】

評価の観点	成果指標（例）
・優れた舞台芸術の鑑賞や、邦楽などの伝統文化に触れ合うなど、子どもたちが豊かな情操や感性を育む機会の充実を図っているか	・市内中学校宝塚歌劇鑑賞の実施校 ・邦楽のつどいの参加校 など